

1月は令和7年度入学者選抜を実施したため、Virtual MOIS (VM)として、家庭で様々な取り組みをしました。1～5年生は自宅で計画的に学習を進めました。6年生は共通テストを終え、一般入試に向けて準備を進める中でさらなる成長を遂げました。さて、MOIS では2月も様々なイベントが開催されました。今回もその一部をご紹介します。

◆総合型・特別選抜入試体験談 WS

2月1日(土)に、総合型・特別選抜入試で大学に進学することとなった6年生7名が登壇し「総合型・特別選抜入試体験談 WS」が実施され、500人が収容できるグローバルホールは立ち見ができるほどの盛況となりました。

パネルディスカッションでは「入試に向けていつから準備をし始めたのか」「MOIS での学びが、入試にどのように活かしたのか」などの質問に対し、生徒たちは自信を持ってはきはきと答え、保護者や後輩への具体的なアドバイスを交えながら、自らの挑戦を伝えていました。



◆中国中等教育日本語教師研修・本校訪問

2月19日(水)、中国の中等教育機関から日本語教師22名が、研修の一環として本校を訪問しました。一日をかけてMOIS の授業を見学し、その後の意見交換会では、教育に関する熱心な議論が交わされました。訪問された先生方は、本校の高度な授業内容や、生徒たちが主体的に取り組むグループワークの活発さに驚き、「生徒同士が積極的に意見を交わしながら学びを深める様子が非常に印象的だった」と感心していました。



◆立会演説会

2月27日(木)に、来年度の生徒会役員候補による「立会演説会」が行われました。11名の候補者が登壇し、それぞれの想いを熱く語り、より良いMOIS の未来に向けた公約を力強く発表しました。「学校生活をもっと活気あるものにしたい」「生徒同士の交流を深める新たな取り組みを提案したい」など、多彩なアイデアが飛び交い、会場は気持ちのこもった立候補者たちと、真剣に耳を傾ける生徒たちの熱気に包まれました。





「From Saitama to the World」

IB コーディネーター: Brad Semans

From February 24th to the 28th, 9 MOIS students visited Upper Saint Clair High School in our sister city, Pittsburgh. During, MOIS students stayed with host families, joined in lessons at the high school, took a day trip to learn about Pittsburgh with their host-buddies, joined Japanese language lessons, and taught their peers in Pittsburgh about the culture of Japan, Saitama, and MOIS. What was the result?

Most importantly, MOIS students created deep friendships with USC students very quickly. After just a few days, they were like brothers and sisters. This is because both schools share many of the same values. We are both IB World Schools, both have LDT, and both value student inquiry!



MOIS and Upper Saint Clair Students at USC High School



MOIS Students sharing Japanese culture with USC students during ART (Academic Resource Time) which is very similar to MOIS's LTD!



Second, the MOIS students were able to learn about their sister city of Pittsburgh while also supporting JASP, the Japan America Society of Pennsylvania. We visited many important sites in Pittsburgh and also joined the speech contest hosted by JASP.

Finally, as a result of the great efforts of the MOIS students and the hospitality of USC teachers and families, MOIS has created a new connection in the world that will continue into the future!



Overlooking the city at the Incline.

2月24日(月)から28日(金)まで、MOIS の生徒9名が姉妹都市ピッツバーグのアッパーセントクレアー高校を訪問しました。期間中、MOIS の生徒はホストファミリーの家に滞在し、高校の授業に参加し、ホストバディとピッツバーグについて学ぶ日帰り旅行をし、日本語の授業に参加し、ピッツバーグの同級生に日本、さいたま市、MOIS の文化について教えました。

最も重要なことは、MOIS の学生たちが USC の学生たちとすぐに深い友情を築いたことでした。たった数日で、彼らは兄弟姉妹のようになりました。これは、両校が多くの同じ価値観を共有しているからです。両校とも IB ワールドスクールであり、LDT があり、生徒の探究心を大切にしています!

第二に、MOIS の生徒たちは、JASP (ペンシルバニア日米協会) と共に、姉妹都市ピッツバーグについて学ぶことができました。私たちはピッツバーグの多くの重要な場所を訪れ、JASP 主催のスピーチコンテストにも参加しました。

最後に、MOIS の生徒たちの素晴らしい努力と、USC の先生方とご家族のホスピタリティの結果、将来も続くであろう世界での新しいつながりを、MOIS は作ることができました!



Presenting at the JASP Speech Contest

1年生 「はじめての VM～校外だからこそ得られる学び～」

1年生担当：高見 藍

2月に入り、今年度も残りあとわずかです。1年生は、1年間の締めくくりとして、各教科の総括的評価課題に取り組んでいます。忙しいスケジュールではありますが、提出することだけを目標とせず、内容の質を高めていくことを大切にしたいと思っています。

さて、1月はVM(Virtual MOIS…入学者選抜期間中の家庭学習のこと)が大半を占める月でした。校外だからこそできる挑戦や社会貢献の場を各自で設定し、VM 明けに互いの成果を発表し合いました。いくつかご紹介します。



ゲームのプログラミングに挑戦しました。完成したらプログラミングコンクールに応募する予定です。



祖母の畑仕事を手伝いました。収穫できたほうれん草でシチューを作って家族に振る舞いました。



友達と大宮駅から氷川神社までの道のゴミ拾いをしました。街の方々が声をかけてくれました。まだゴミが残っている場所があるのでまたやりたいです。



立教大学の SDGs 実践発表会に参加してきました。とても多くの学びがあったので内容をポスターにまとめました。自分の長所も見つけられました。



学割を使って、友達と山梨県にフィールドワークに行ってきました。道中の電車でのマナーに気を付けて、周囲に配慮した行動もできました。



植水小学校のボランティアに参加しました。自分の 3G の探究テーマである「地域活性化」にも繋げていきたいです。

2年生 「当たり前を徹底する」

2年生担当：吉田 優作

1月の VM 期間が終了し、2月に入ったことを機に、生徒たちと「当たり前」について再確認しました。最近、バスのマナーや貴重品の管理、ハンカチの携帯、PC の使用方法など、基本的なことができていない様子が見受けられます。3年生に進級するにあたり、これらのことをもう一度徹底するように話しました。

また、今月は「2・3年合同レク」や「NZ 語学研修説明会」が開催されました。「2・3年合同レク」では、2・3年生の HR 委員が中心となって運営し、生徒たちが全力で楽しむ姿が印象的でした。クラス対抗やグループ対抗戦では、前回のレクに比べてチームワークの向上が感じられました。「NZ 語学研修説明会」では、来年度のニュージーランドに向けて、目的や行程、学校紹介等の説明があり、生徒たちのモチベーションが徐々に高まっている様子が見受けられました。このように、行事を通じて生徒たちの成長と意識の向上が見られ、今後の活動にも期待が高まります。

3月の大宮国祭や進級に向けて、基本的な行動が当たり前に行えることが必要です。そのためには、これまで以上に意識を高めてほしいと思います。2年生の教員一同、5期生全員が3年生になる自覚を持ち、日々の行動に責任を持てるよう尽力してまいりますので、ご家庭でも成長を見守っていただければ幸いです。

School	プログラム
Aidanfield Christian School	Global Citizenship アイデンティティの基盤 (文化・歴史・地理)
Christchurch Girls School	女性の地位 スポーツを通して
Geraldine High School	MAORI Cooking
Kaipoi High School	1. エコのグリーン野菜のグリーン 2. Morden Cooking
Lincoln High School	Past times and traditions
Mt. Hutt College	Guardian of the land Sustainability Tourism
Oxford Area School	Visual Art-Merging Japanese and MAORI Design
Darfield High School	Bee's Life

NZ プログラムの紹介です



終始笑顔溢れるレクリエーションでした

3年生「前期課程の最上級生として」

3年生担当：市川 さくら

今月は前期課程の最上級生として活躍したり、3年間の集大成として活動したりする場面が多かったように思います。各教科の総括的評価課題に真剣に取り組むのはもちろんのこと、来月予定されている「大宮国祭」の準備を、実行委員や各担当班のリーダーを中心に生徒主導で積極的に進める姿が見られました。

また1月下旬には2年生との合同レクが行われました。HR委員を中心として2年生を引っ張りながら企画・運営をしている姿に頼もしさを感じました。

最後に、長い間親しんできた給食を味わえるのも、残りわずかとなりました。みんなで同じ食事を囲む楽しさや美味しさを改めて感じながら、思う存分味わってほしいと思います。



大宮国祭に向けて、各クラス準備をしています。

2・3年生合同レクでは、台風の日と借り人競争をしました。



4年生「年次のまとめへ」

4年生担当：川西 輝

1月から2月上旬にかけて学年全体で様々な活動がありました。どれもこの先につながる貴重な機会となりました。

①小論文のワークショップの実施…1月27日(月)・28日(火)

4年生全体で小論文のワークショップを実施しました。論文の構成を改めて考え、言葉に起こすいい機会となったようでした。最初はなかなか上手に書き始められない生徒もいましたが、2日目には上達が見えました。大学入試での論文課題や志望理由書の推敲など、多くの場面で求められる力になります。このワークショップを機に、積極的に小論文などの課題やコンクールに取り組み、力をつけていってほしいと思います。

②5年生の学部説明会…1月28日(火)

5年生が調べた学部について4年生向けに発表会が開かれました。学部・系統ごとにまとめて説明をしてもらいました。4年生にとって、「この先で何を学びたいのか」はとても大事な視点になります。大学名で決めるのではなく、学部や系統の視点で進路先を考えるという視点の重要性を改めて考える場となりました。ぜひ進路選択に生かしてほしいです。

③3Gの年次発表会…2月4日(火)

修学旅行後の発表会が行われました。さすが4年生といえる内容で、今までに身に付けた力を発揮し、人の心を動かせる素晴らしい成果物・発表でした。ポスター、写真集、絵本、カードゲーム、双六、マインクラフトを使用した街の再現など、様々な工夫が凝らされていて、誰でも作れるものではなく、「実際に学んだ自分たちだからこそ発表できること・表現できること」を感じることができました。このような力を来年度以降、様々な場面で発揮してほしいと思っています。



3G発表会の様子。様々なグループの発表を生徒自身も楽しみながら聞いていました。

5年生「来年の今ごろをイメージして」

5年生担当：戸所 良介

世間では、大学入学共通テストが終わり、私立大学の個別入学試験の時期となるなど、受験シーズンが本格的に始まっています。本校5年生も、入試を意識する生徒が多くなりました。日々の授業や学校生活の多くの場面で各生徒が自身の希望進路実現に向けて、一生懸命に取り組んでいる様子が多く見受けられます。校内のみに留まらず、本校の探究的な学びを通じて得た知識や姿勢を駆使し、外部コンテストで入賞表彰される生徒も多くなってきました。このことは、生徒自身が主体性を持ち、他者との協働的な学びを通じて模試などでは図ることのできない「学びの力」が身についてきたことと捉えられます。このような姿勢を残りの学校生活においても貫き通し、来年の「今ごろ」はどのような自分になりたいか、なっているかをイメージし、たくましい体と強い意志を本校で育み、世界へはばたき、活躍してもらいたいと強く願っています。

年次団としてともに過ごす時間は短くなってきましたが、最終年次に向けてサポートしていければと考えています。ご家庭におかれましても、「来年の今ごろ」をイメージしながらお子さんにお声がけいただきたいと思います。

日本数学 A-lympiad で最優秀賞・優秀賞を受賞し、オランダで開催される国際 Math A-lympiad に日本代表として出場しま

3 G の活動内容がコンテストで表彰されました！



6年生「潔く、カッコよく」

6年生担当：北川 嘉則

2年間、担任・副主任としてこの年次と関わったことを幸せに思います。保護者のみなさまにおかれましては、6年間本校の教育へのご理解・ご支援をいただき、まことにありがとうございました。年度当初より、新成人としての自覚と責任を身につけ、「一人ひとりが納得できる進路の実現」を掲げて日々の指導にあたっていました。この原稿を執筆している2月中旬ではすべての生徒の進路先が決定しているわけではありませんが、生徒一人ひとりが自信をもって未来の自分や社会の実現に向けて、新たな一歩を踏み出してくれると確信しております。

ご家庭においても年度後半は総合型選抜・学校推薦型選抜からはじまり、共通テスト・一般選抜へと大学進学を中心とした話題が多かったことと思います。しかし、生徒たちには「どのようになるか」という過程よりも、「なって何をしたいか」という理想を大切にしてほしいと考えています。知識基盤社会といわれる現代において、確かに大学進学は重要な位置を占めてはいます。しかし、本校ではそれを目標ではなく、理想を実現するための一方法として伝えてきました。本校を巣立った後、壁にぶつかったときそのことをぜひ思い出してほしいと思っています。また、ご家庭においても、苦しんでいる姿を見かけたとき、「あなたにとって潔くカッコよい生き方はどんなもの」と問いかけていただければ幸いです。

1期生の未来に幸多からんことを願っております。